



「公園の区分」の再編と
機能向上を



田中 聡(輝)

問／市内の公園は、その目的と用途が分かれており、市の担当所管別に管理している。全体を包括した施設の配置についての考えはあるか。

答／当市には様々な規模や機能を持つ都市公園が142か所、農村公園が77か所、児童遊園が76か所、中規模公園が8か所、民間事業者等が開発行為で整備し、市に譲渡された公園等が205か所、合わせて508か所の公園がある。遊具については、安全性や老朽化等の視点から、統一的な基準を定め、各所管課にて管理している。管理方法について、農村公園・児童遊園は、都市公園と同様の形態に統一している。

問／公園の利用実態や特色ごとに「公園の区分」を再編し、検証した上で機能向上を図っていく考えはないか。

答／人口減少や少子化・高齢化に加え、余暇活動の多様化に伴う市民ニーズの変化、複数の公園が近接している状況などの解消に向けて、関係課が連携し、公園の種別の枠を超えた適正配置を進めるとともに、将来の需要や利用者のニーズを踏まえた機能の充実について、検討を始めたところである。検討に当たっては、地域住民の意向を踏まえ取り組んでいきたい。



五智公園の八重桜



今冬の大雪災害を
どう総括するか



渡邊 隆(無所属)

問／豪雪災害に見舞われた状況にあったが、今後の雪対策についてそれぞれに課題、検証すべき点があったと思われる。現時点での総括は。

答／記録的な大雪により生活道路の除排雪に時間を要した。除雪事業者と共に懸命に除排雪作業に取り組み、一斉雪下ろしは最短の準備期間で実施できた。今回の経験を今後の対策にいかし、引き続き市民の安全・安心確保に取り組む。

問／緊急車両のため、幹線道路の除排雪を優先したことに理解はする。一方で歩道が開かず、通勤、通学者が車道を歩き、危険であった。歩道確保を優先すべきではなかったか。

答／幹線道路を優先しつつ、早期に歩道確保できるよう、除雪事業者と作業手順の確認を行う。

問／空き家対策を兼ね、空き家を解体した土地を排雪場として使えるよう所有者と交渉しては。

答／市による解体は考えていない。必要に応じて、所有者と町内会等で検討していただきたい。

問／雪捨て場について、夜間の開設など民間業者に配慮する必要もあったと考えるがどうか。

答／増設や時間延長は困難であったと考える。

問／毎年、雪下ろし作業で落下事故が起きる。市では命綱使用やアンカー設置の注意喚起を促すが、現実には則した転落防止対策なのか。

答／アンカーの仕組みや設置方法など、市民に分かりやすく効果的な注意喚起に努める。



東電は柏崎刈羽原発の
運転資格がないのでは



橋爪 法一(日本共産党議員団)

問／柏崎刈羽原子力発電所でのIDカード不正使用による中央制御室への不正入室、核防護体制の長期間にわたる不備、7号機の安全対策工事未完了問題を市としてどう見ているか。

答／東京電力について「企業統治、法令遵守がどう機能していたのか」ということに疑問を抱かざるを得ない。徹底した調査による原因究明と万全の対策を講じることを強く求めたい。

問／原子力災害における避難計画づくりに新たな課題が浮上する中で、再稼働はすべきでないと考えられているか。

答／菅総理が「しっかりとした避難計画が作れない中で再稼働が実態として進むことはない」と述べられており、私もそう受け止めている。なお、再稼働のいかんを問わず、実効性のある避難計画の策定に取り組んでいきたいと考えている。

Illustration by [unreadable]

